



じょう が く つ う し ん 城 岳 通 信

第 11 号

令和 2 年 6 月 30 日 (火)
発行者：校長 宮里 寿子

本日、城岳小は創立 71 年目を迎えます。

～仲本千佳子前 PTA 会長の放送朝会(6/24)がありました。～

本日、6 月 30 日は城岳小学校の創立記念日。今年で創立 71 年目を迎えます。昨年度は、70 周年の記念行事として、ロゴマークを作成、記念ソング「今までも これからも」を音楽発表会で披露しました。午後の創立 70 周年記念式典・祝賀会では、仲本千佳子前 PTA 会長が「城岳小学校のあゆみ」として、パワーポイントで紹介していたのですが、ぜひそれを「子ども達にも聞かせたい！見せたい！」との思いから、先週の放送朝会でゲストとして呼びました。

以下、仲本さんがお話の概要及びスライドです。戦前から今に至るまでの城岳小のお話でした。

城岳小学校の前身に当たる「真和志尋常高等学校楚辺分教場」が昭和 3 年に開校。瓦葺き木造校舎 4 棟、児童数 236 名 4 クラスでのスタートでした。その後、周辺に商店が立ち並び、賑わいととも人口が増えていったため、昭和 15 年楚辺分教場から楚辺尋常小学校として独立。クラスも 20 学級に増え、翌年の昭和 16 年、楚辺国民学校へと名称が変更されました。終戦後、現在の奥武山護国神社の場所に昭和 22 年みなと初等学校が開校され、楚辺、壺川、松尾地区の子ども達の為に現在の城岳小学校の場所にみなと初等学校楚辺分教場が作られました。義務教育制度が導入され、昭和 24 年 1949 年 6 月、城岳小学校へと独立。小学生 812 人でのスタートでした。戦後の爪痕の残る校庭を、教職員、児童、保護者も協力し、整地しました。米軍からもらい受けてきたテントやコンセットを建てて校舎とし、そこに収まらない児童は青空の下で授業を受けました。やがて木造の永久校舎が出来、ブロック校舎が順次建てられ、昭和 35 年 1960 年には生徒数は 3000 人を超えるマンモス校となっていました。昭和 45 年 1970 年の創立 20 周年には、那覇の小学校で第 1 号となる体育館が建てられ、体育館の予定地の取得や整地に当時の PTA の力が大きく働きました。昭和 56 年 1981 年、現在の校舎に建て替えられました。そして、城岳小学校は今年で創立 71 年目となります。

このように本校はこれまでの教職員、保護者、地域の方々、各関係機関の方々の多くの力添えの元に、昭和から平成、そして令和の現在に至るまで目覚ましく発展してきました。これからの城岳小学校が笑顔あふれる学校でありますよう、願っております。『希望を胸に 未来描いて 羽ばたけ城岳っ子』



開校当時の授業の様子



1963年マンモス当時の運動会



体育館落成 (1970年1月)



PTA より児童へ「お祝いかん」 ～給食時間に、美味しく頂きました。～

本日の給食時に、「今日は、城岳小学校の誕生日です。今年で 71 才を迎えます。それをお祝いして PTA から『かかん』のプレゼントがあります。」との放送でニコニコしてかかんを取りに来ていた城岳っ子。美味しかったですよね。(*^_^*)

